



大倉集古館に行ってみませんか

大倉財閥を創設した大倉喜八郎

大倉喜八郎(1837-1928)は、越後国蒲原郡新発田町(現新発田市)の商家に生まれ、17歳の時に江戸に出ました。鯉節屋の丁稚奉公を経て、乾物店大倉屋を開業する。横浜で黒船を見たことを契機に鉄砲商になり、新時代に即した貿易業・土木建築業を興すなど、実業家として活躍。渋沢栄一などと共に、鹿鳴館、帝国ホテル、帝国劇場などを始め200社を超える会社を設立した。他方では、社会・教育・文化活動にも注力し、3つの商業学校、大倉集古館なども設立しました。



戦前の八大財閥の一つである大倉財閥を一代で創設し、台湾、韓国、中国など、海外でも幅広い活動をしました。

重厚な建築に圧倒

大倉喜八郎は、明治維新以降の社会的混乱による日本の美術品の海外流出を危惧し、その収集を行い、明治35年には赤坂の自邸内に大倉美術館を設立し、訪問客の観覧に供しました。



大正6年、男爵の受爵を機に、日本初の私立美術館となる「大倉集古館」を設立し、そこに全收藏品・建物・土地・維持資産を寄付することで運営を始

めました。

その後、関東大震災で建物と多くの収蔵品を焼失しましたが、昭和3年に耐震耐火の壮麗な中国風建物となり再開館しました。幸いにも同館は戦災を免れ、平成10年に国の有形文化財に登録、その後5年に及ぶ増改築工事を経て、令和元年にリニューアルオープンし、現在に至っています。

災禍を免れた大倉コレクション

現在の収蔵品は、日本・東洋の古美術品と、日本の近代絵画などを中心とする約2500点からなり、国宝3点、重要文化財13点、重要美術品44点が含まれます。

関東大震災では、大倉集古館の建物と約3300点の収蔵品を失いました。その中で、倉庫内にあって火災を免れた、あるいは猛火の中を搬出されたものが、現在のコレクションの基礎になっています。



普賢菩薩像(国宝)

喜八郎翁の死後は、その嫡男である大倉喜七郎が近代日本画など収蔵品の充実に努めました。

利用案内

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(ホテルオークラ東京前)
電話：03-5575-5711
開館時間：10:00～17:00
休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)
入館料：一般 1,000円(特別展は1,500円)

(大倉集古館のガイドブック「大倉集古館の誘い」を参照しました)

手づくりの藍染め小物や
手描きローケツ染めインテリア商品を
真心こめてお作りします

染色工芸藍染 泉屋染物店

〒957-0052
新潟県新発田市大手町1-7-2
電話 0254(22)3216
FAX 0254(22)1026
HP <http://izumiya-aisome.com/>

No.5 農事組合法人二王子

品目
メロン、チンゲン菜
住所
〒957-0347
大字大友3836
TEL
(0254)25-3488(事務所)メロン……10月中旬～2週間
(0254)25-2285(代表者宅)チンゲン菜…1月下旬～2月下旬



その他 贈答用可



道の駅 加治川
MICHINOEKI KAJIOKA



道の駅加治川
駅長 五月女奈緒美
〒959-2411 新発田市横岡1147
TEL.0254-20-7393

城下町新発田会総会・懇親会を開催

城下町新発田会（小野悦男会長）では、5月26日（日）、東京新潟県人会館において、令和6年度の定時総会を開催しました。当日は、新発田市より伊藤純一副市長、太田貴輝市民まちづくり支援課長、関西新潟県人会より小谷野達雄会長、高山博司しばた豊浦会会長を来賓に迎え、総勢27名が出席しました。

小野会長は、「この会はふるさと新発田の応援団でもあります。『新発田のものを食べる・飲む』ことが支援につながります。8月には新潟県の情報発信拠点となる“THE NIIGATA”が銀座すずらん通りにランドオープンします。皆さんといっしょに行きましょう」とふるさと支援を訴えました。

二階堂馨新発田市長からは、日頃の応援に感謝を述べるとともに「新発田は、田植えも終わり、さわやかな田園風景が広がっています。月岡温泉は“まち歩きのできる温泉”として活気を取り戻しています。6月にはあやめが見ごろを迎えますので、ぜひ新発田にお越しください」とのメッセージが披露されました。



結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい

〒957-0057 新発田市御幸町1丁目1の1

利志 志まや

電話 (0254) 22-2102 (代)
FAX (0254) 26-3430

ごままんじゅう ◆ くるみがんじき



手づくりの白い肌に風味豊かなごまの香りの「ごままんじゅう」。もち、ごま、こしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。
「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋

〒957-0053 新発田市中央町2-1-17
TEL. (0254) 22-3289 FAX. (0254) 22-3900
〈営〉9:00～18:30 〈休〉元日
※売り切れ次第、閉店17:00とさせていただきます。

国際認証取得圃場で栽培された「越後管谷産」の安心・安全なお米を生産・販売いたします



農地所有適格法人
有限会社 アグリ・システム

〒959-2517 新潟県新発田市麓691番地
TEL: 0254-29-2500 FAX: 0254-29-2131

「加治川を愛する会」に入会しませんか



世界一の桜並木

新発田市を流れる加治川沿いにはかつては6,000本もの桜並木が連なり、東洋一・世界一と評されました。桜の季節には、雪をかぶった山脈を背景に菜の花も見られ、まさに絶景と評されました。

しかし、戦中には燃料や農作業の杭などの不足により、一部（約1,500本）が伐採されます。また、昭和41年・42年には大きな水害が起こり、治水対策によりそれまで堤にあった桜を全部（4500本）切ることになり、工事に関わった人達は涙を流しながら伐採したと記録に残っています。

桜並木の復元

桜の復元を求める声があるものの、「加治川の災害は人災である」として国や県を訴える動きもありました。しかし時代の流れの中で、自然と親しむことを大切にする価値観の後押しもあり、「堤を補強して桜を植えてよろしい」との許可が出されました。

民間の働き掛けもあり、約2,200本まで復元できましたが、河川管理方針の制限や現在の経済情勢などもあり頭打ちになってきています。

加治川を愛する会

昭和59年には「日本桜の会」（当時は美智子皇太子妃が名誉総裁）から1,000本の寄付を受けました。それを契機に加治川桜堤復元促進協議会（会長は新発田市長）が発足。「加治川を愛する会」の提唱者であった「たかたかし」氏（同会名誉会長、作詞家、新発田市出身）も参加しました。

現在同会の会長を務める鬼嶋正之さんは、合併前の紫雲寺町町長。

同会の主な活動は、加治川堤での桜の植樹や草刈りなどの育樹活動、「桜堤ウォーク」や「桜まつり・しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」などを例年開催しています。



鬼嶋正之の会長

このようなボランティア活動にご賛同いただける方は、ぜひご入会ください。

入会方法

入会申込書に年会費（1,000円）を添えてお送りいただくか、郵便振込取扱票に「00570-5-28859 加治川を愛する会」宛にお振込みください。

王紋酒造
本社：新発田市本町 1-7-5
TEL:0254-22-2350/FAX0254-23-6233

江戸屋餅菓子舗
店：新潟県新発田市中央町3-8-9
Tel 0254-22-3942
定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
工場：新潟県北蒲原郡聖籠町蓮濁 3397-1
Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356

大切な方への贈り物にはお米を！
産地直送でお米・新潟県産コシヒカリのお取り寄せならおの米店へ
おの米店 0254-25-2434 090-5197-8067
美味しいお米を販売 8:00 ~ 21:00

TOPICS トピックス

東京新潟県人会の新会長に宮田亮平氏を選出

5月18日(土)開催の「第114回東京新潟県人会総会」において、第12代会長に宮田亮平氏(79歳)が選出されました。(初代会長は大倉喜八郎氏)

宮田亮平氏は、佐渡市出身、第9代東京藝術大学学長、第22代文化庁長官、などを歴任。金属工芸家として、世界的にも活躍。代表作にイルカをモチーフにした「シュプリンゲン」シリーズがあり、日本橋三越本店エンブレム、東京駅・銀の鈴、神田明神など多くの場所で、作品を目にすることができます。横綱審議委員会委員も5期10年務めました。文化功労者、日本芸術院会員。



宮田会長の作品



城下町新発田まつり

令和6年度の城下町新発田まつりのメインは、8月27～29日の日程で開催されます。今年も盛りだくさんの行事が予定されていますので、ぜひお越しください。

編集後記

新発田市の木は桜、花はあやめです。昭和53年に五十公野に造られたあやめ園は、現在300品種、60万本まで増えているそうで、日本4大あやめ園の一つに数えられています。6月半ばにはきれいな花を楽しむことができます。あやめ祭りも予定されています。(6月12日～23日)

同園には、伊勢神宮と明治神宮からいただいた貴重なあやめもあるそうです。

また、新発田城は、別名「あやめ城」とも呼ばれます。城周辺には湿地帯が多く、あやめが群生していたことに由来します。

「THE NIIGATA」8月8日、銀座にグランドオープン!

新潟県の新たな情報発信拠点「THE NIIGATA」が銀座すずらん通りに、グランドオープンします。(詳細は公式HPをご確認ください)

8月11日(日)には、同館の3Fイベントスペースで「新発田物産フェア」の開催が決定しました。お問い合わせでご来場ください。



公式HPはこちら

味楽度

キッチン味楽庭
「加治川中華そば」

新発田市横岡 1147 道の駅加治川内
TEL.0254-28-3028
代表取締役社長
中野則司 (向中条出身)

加治川つけ麺

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(13)第5435号

三光建設株式会社

代表取締役 松川 吉男

TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20

くだもの生産直売

ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工

高橋農園

〒959-2506
新潟県新発田市横山1149番地
直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp

果物の地方発送
西洋梨ルレクチエの贈答

JA北新潟
おいしいお米は北新潟で

JA北新潟
農産物直売所

営業時間/9:00～18:00 定休日/火曜日
冬季営業時間(12月～3月)/10:00～17:30
http://shop.ja-kitaechigo.jp/
[JA北越後オンラインショップ] 検索

マスコットキャラクター「きたつち」